

## 令和 7 年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	54	学校名	榛原高等学校	記載者	松本 力也
------	----	-----	--------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	個別最適な学びを通じて確かな学力を高めるとともに、グローバルな探究活動を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教員は強化等を理解できるよう指導していると思う生徒90%以上</li> <li>○自分が行うべき家庭学習ができている生徒80%以上</li> <li>○個人端末を効果的に活用した学習等をする生徒90%以上</li> <li>○探究活動等を通して思考力・表現力・協働力を高めた生徒85%以上</li> <li>○県内外と連携したグローバル事業（研修、発表等）を実践している</li> <li>○英語4技能を高められた生徒75%以上</li> <li>○新着図書情報等を毎月発信</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「教員は教科等を理解できるよう指導していると思う」と回答する生徒の割合が年々増え、目標を大きく上回る結果となったことは高く評価できる。</li> <li>○今年度、グローバル部の「ここよ！避難場所プロジェクト」チームが三菱みらい育成財団「高校生MIRAI万博」の発表者に選ばれ、大阪・関西万博 EXPO ホールでプレゼンしたことは、貴校がこれまで力を入れてきたグローバル事業の成果の一つである。</li> <li>○家庭学習時間については、保護者がどのように受け止めているのかを聞いてみることも大切ではないか。</li> <li>○探究活動は、榛原高校の特色として地域や保護者にも認識されつつあると感じる。今後はその強みをさらに積極的に発信し、進学実績の向上にもつなげていけるとよい。</li> <li>○家庭学習ができている生徒が69.7%と目標から乖離がある。教員の方の負担が一時的に増す可能性はあるが、家庭学習に取り組みやすくする仕組みを考案し、長い目で見て家庭学習に取り組む生徒が増し、結果、教員の方の負担も減るとよい。</li> <li>○探究、グローバル授業が一定の成果となり進学実績にもつながっている。生徒の達成状況や評価も良好である。その一方で、家庭学習時間とのバランスが課題となるかもしれない。</li> </ul>

様式第5号

イ	一人ひとりの進路希望実現のため、系統のかつ個に応じた進路指導・支援を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進路指導に満足している生徒 85%以上</li> <li>○学びの基礎診断や模擬試験における結果 前年度比アップ</li> <li>○探究活動等を活かして進学する生徒 20人以上</li> <li>○理数探究に積極的に関わったと判断する生徒 75%以上</li> <li>○「進路勉強会」の保護者満足度平均 80%以上</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「丁寧さ」と「業務負担軽減」の二兎を追うアイデアを教員間で協議を続けていただきたい。</li> <li>○進路については、生徒一人一人が多様な選択肢やチャンスを得られることが大切である。</li> <li>○総合型選抜や学校推薦型選抜を利用した進学が増えていることに学校の変化を感じる。教員の負担も大きくなっていることが心配。</li> <li>○進路勉強会の評価が非常に高い。次年度は勉強会への参加率も開示してほしい。</li> </ul>
ウ	規範を守り、進んで諸活動に取り組み、自己管理と礼節、他者を尊重する心を育む教育を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内で端末機器を利用規約に沿って使用している生徒 95%以上</li> <li>○期限を守っている生徒 90%以上</li> <li>○校内外においてあいさつができています生徒 95%以上</li> <li>○教員は生徒の個性を尊重していると思う生徒 85%以上</li> <li>○課外活動に積極的に参加している生徒 85%以上</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「規範」と「主体性（自由）」の捉えについても「スクールミッション」で掲げた視点から改めて教員間で協議してみると意義があるのではないか。</li> <li>○評価結果から、全体として規範意識の高い生活ができていると考えられる。最近では、自転車通学の生徒のヘルメット着用も増えており、交通安全を自ら守ろうとする意識の高まりが表れている。</li> <li>○規範を守ることは、校内生活だけではなく、社会生活でも重要なので、今後とも向上するようにしていって欲しい。</li> </ul>
エ	安全で安心な学校生活を保ち、整った環境づくりを教職員・生徒ともに行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内の清掃・整頓が行き届いていると思う生徒 90%以上</li> <li>○教職員は生徒の健康・衛生管理を適切に行っていると思う生徒 90%以上</li> <li>○教育相談に満足している生徒 80%以上、保護者 80%以上</li> <li>○いじめ、体罰、重大事故 0件</li> <li>○安心して学校で生活できる施設・環境であると思う生徒 90%以上</li> <li>○毎月の安全点検を通して、学校施設設備の維持管理を行う。</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○改めて危機管理マニュアルについて実際に機能するののかという視点から教員間で協議するとともに保護者にも共有しておくとうい。</li> <li>○学校として、SNSなどに関するメディアリテラシーの指導を継続的に取り組んでほしい。</li> <li>○校舎が古くても清掃が行き届いていれば、清潔に見える。</li> <li>○清掃が行き届いているかどうかの感覚が先生と生徒でズレがあるのはやむを得ない。</li> <li>○学校が古いからと言って不潔なわけではない危険ということもないと思うので出来る限りの対応をしていただきたい。生徒募集に対してはマイナスイメージが多いようなのでイメージ戦略としては何らかの対策が必要になる。</li> </ul>

<p>オ</p>	<p>教職員の資 質向上を協 働的に図る とともに、 業務の改善 を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内研修テーマ「3年間の進路指導の流れを改めて考える」について協働的に研修した教員 90%以上</li> <li>○他教員の授業見学を年2回以上行った教員 85%以上</li> <li>○時間外在校等時間が前年度比で減少した教職員 60%以上</li> </ul>	<p>B</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○引き続き業務改善に向けた検討や工夫に取り組んでほしい。</li> <li>○県立高校では「業務量管理・健康確保措置実施計画」の運営がどのように行われるのか気になっている。国の指針では学校運営協議会の協議事項に入れるような文言も見られるのでより良い形を検討してほしい。</li> <li>○教員の授業力向上は非常に重要である。他教科や他の教員の授業を参観し、自身の授業を振り返って改善する取組を、今後も継続してほしい。</li> <li>○働き方改革が求められる中で、業務は増大しているため、時間外勤務を削減するのは困難なのではないか。</li> <li>○他教員の授業見学と時間外在校時間に関する目標達成は両立が難しいと考える。見直しを検討してもいいのではないか。</li> <li>○先生方の負担は以前よりも増加していると思われる。官民間わず若手を中心にワークライフバランスを重視する社会人が増えており管理職は大変な状況が想像される。</li> </ul>
<p>カ</p>	<p>学 校 関 係 者、保 護 者 等 と と も に 教 育 活 動 の 改 善 に 取 り 組 み、適 時 に 情 報 を 共 有 ・ 発 信 す る</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校運営協議会の協議内容を学校運営に活かしている。</li> <li>○保護者の学校満足度 90%以上</li> <li>○HPやインスタグラムの記事を月平均で15回以上投稿する</li> <li>○定期的に関連する保護者 70%以上</li> <li>○学校が必要な情報を発信していると思う保護者 95%以上</li> <li>○学校広報掲示物を月1回程度発行</li> <li>○一日体験入学、オープンスクール等の満足度 90%以上</li> </ul>	<p>A</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校運営協議会では意見が出しやすい雰囲気を作ってくれている。</li> <li>○HPやインスタグラムが、ほぼ月15回近く更新されていることは大変素晴らしい。フォロワーが増えているのも納得できます。引き続き、発信力の向上、適切な情報発信に努めていただきたい。</li> <li>○教員の努力が数値に表れている。</li> <li>○生徒募集の観点からも学校からのSNSでの情報発信、保護者の満足度は今後さらに重要になってくる。今以上に部活動の様子や生徒が発信するSNSがあってもよい。</li> </ul>